



1_ (左から) 安田所長、佐藤副委員長、高橋町長 2_ 町特産の桃「あかつき」は例年より出荷が早い見込み

香り高い上質な桃 28年連続して献上桃に決定

桑折町産の桃「あかつき」が、皇室献上品として、県から指定を受けました。皇室への献上は、平成6年から始まり、今年で28回目。東日本大震災や原発事故、そして、新型コロナウイルス感染症拡大後も一度も途切れることなく続いています。

献上桃決定通知交付式が6月21日、役場で行われました。高橋町長立ち会いのもと、県北農林事務所の安田宏幸所長からJAふくしま未来の佐藤廣武営農経済副委員長へ、決定通知が交付されました。高橋町長は桃農家や生産関係者らに敬意を表し、「台風やせん孔細菌病、遅霜被害と3つの災害に見舞われる中、今年も指定いただき、生産者の励みになった。今後も町として支援を進めていきたい」と話しました。

福島蚕糸跡地利活用 2事業者と協定締結



▲協定書を手にする(左から)伊藤代表取締役社長、高橋町長、小松理事長

福島蚕糸跡地利活用について、町はスーパーマーケット事業を展開する「株式会社いいい」と子ども園を運営する「社会福祉法人松葉福祉会」と6月8日、役場で基本協定を締結しました。

約2・2ヘクタールの敷地には、いちいがスーパーやアウトドア施設などを整備。松葉福祉会は、私立の幼保連携型認定子ども園を設ける計画となっています。特に、スーパー内には、地元農産物の直売所設置や高齢

賑わい創出の場を 町民の皆さんと



株式会社 伊藤 信弘さん
代表取締役社長

この度ご縁があり、桑折町へ出店できる運びとなったことを大変うれしく思い、また感謝しています。町民の皆さんに満足いただける店舗で、住みやすさをお手伝いするとともに、自然体験による新たな交流の場をご用意します。かつて桑折町の産業の中心であった場所に、これからは皆さんが集い、賑わいあふれる場所に育てていただければ幸いです。自然豊かで歴史ある桑折町の風土を尊重しつつ、新しい取り組みとの調和を図っていきます。

皆さんに愛される 子ども園運営を



(社福) 松葉福祉会 理事長
小松 良行さん

この度は、私たちの提案を採択いただき、心から御礼申し上げます。歴史と伝統を尊び、かおり(醸芳)高い文化のまち桑折町は、献上桃の郷としても私たち県北に暮らす人々の誇りであり、連帯中核都市圏を柱に、将来にわたり発展し続けなければならないものと考えています。次世代を担う子どもたちの教育・保育を推進し、みんなに愛される幼保連携型認定子ども園として、多様な子育てニーズへ対応できるよう、環境整備に努めていきたいと思っております。

者・子育て世代への移動販売も予定しています。さらに、無料で使用できる学習スペースや各種催しができるパブリックスペースを設けるなど、地域社会に貢献した施設を目指します。

締結式で高橋宣博町長は「住み続けたい町、住みたい町となるように、町の発展につなげたい」とあいさつ。スーパーとアウトドア施設は、令和5年4月の開業を目指し、子ども園については、今後内容の協議を進めていく予定です。



施設イメージ図(現時点での構想案です。詳細については、今後の協議の中で決定していきます。)

再エネ導入推進計画に向けて 有識者会議委員へ委嘱状を交付

町では、地域特性に合った再生可能エネルギーの導入の方向性を示す「桑折町再生可能エネルギー導入推進計画」を年内に策定する方針で準備を進めています。これに伴い、6月7日、役場で有識者へ委嘱状を交付しました。任期は令和4

年3月までとなります。

■委員名(敬称略)
小沢喜仁(福島大学特任教授)、鶴巻貴司(福島県)、清松美穂(福島県)、吉田孝(福島県再生可能エネルギー推進センター)、菊池吉浩(地元事業者)、水口盛(商工会)、吉川渉(工場協会)



▶高橋町長から委嘱状を受け取る小沢委員(右)

町公式ポロシャツ今年も大好評 一致団結して町をPR

町では、毎年大人気の町公式ポロシャツを6月8日、9日の2日間で事前予約者に向けて販売し、限定200着が完売しました。

ポロシャツは、右腕と左胸に町のロゴマークの刺しゅうがあしらわれたデザインで、紺色をはじめ

め、ロゴマークカラーの桃色・黄色・青緑色、スポンサー契約を結ぶ楽天イーグルスにちなんだえんじ色の5色展開。個人だけでなく、会社や地域団体のユニホームとしての注文もあり、さまざまな用途で多くの皆さんに活用いただいています。



▶社員そろって着用し、作業に励む(株)いはいら果樹園の皆さん

長 大宮平吾さんに高齢者叙勲「旭日単光章」 年の功績をたたえて

元桑折町議会議員の大宮平吾さんが、高齢者叙勲（地方自治功勞）「旭日単光章」受章の栄に浴され、その伝達式が5月31日、役場で行われました。宇佐見明良県北地方振興局長から勲記と勲章の伝達が行われ、長男の浩道さんが代理で受け取りました。高橋町長と片平秀雄議長があいさつし、功績をたたえました。

大宮さんは、平成7年から平成19年までの12年間町議会議員を務め、福祉厚生常任委員会副委員長を歴任されるなど、地方自治の進展に尽力されました。



▲「偉大な賞をいただき、孫を含め家族一同喜んでいる」と話す大宮さん(右から2番目)



▲「家族と食べるのが楽しみ」と届いたばかりの野菜を手に、笑顔を見せる児童たち

野 リトルオリーブ基金「まごころ直送便」 野菜を食べて、元気に過ごしてね

被災地の子どもたちの支援として町を訪れ、クリスマスプレゼントなどを贈るクリスマス訪問活動をしているリトルオリーブこども基金（山岡守代表理事）から6月1日、児童館と各地区の子どもクラブを利用する児童らへ「まごころ直送便」が贈られました。「コロナ禍で町を訪問できないが、2年前の台風19号や先日の福島県沖地震で被害にあった地域の子どものために元気をつけたい」と、新鮮な岩手県産野菜や米、たまごなどの詰め合わせを1人1箱プレゼント。受け取った親子は「こんなにたくさんもらえてびっくり」と笑顔で話しました。

町 追分長寿会「花植えボランティア活動」 の玄関口に彩りを

追分長寿会による花植えボランティア活動が6月4日、JR桑折駅前で行われました。会員13人が参加し、白いベゴニアや黄色やオレンジのマリーゴールドなど約10種類の花の苗を花壇に植え、駅前を鮮やかに彩りました。

当日はあいにくの雨でしたが、会員らで協力しながら、500本もの苗を植えることができました。

追分長寿会の安藤重男会長は「町の玄関口である駅前が華やかになった。多くの駅利用者に見てもらいたい」と話しました。



▲雨の中、花を植える会員の皆さん。駅前足運ぶ際は、ぜひご覧ください



▲「掃除をして道路がきれいになると、心もきれいになる」と笑顔で話す菊田さん(左)

15 桑折ライオンズクラブ 菊田利彦さんに感謝状贈呈 年にわたる清掃奉仕の心をたたえて

約15年間、町の清掃奉仕に取り組んできた菊田利彦さん（西町）に、6月16日、仙台屋で桑折ライオンズクラブから感謝状が贈呈されました。後藤忠郎会長は「菊田さんは、ライオンズクラブが推進する自然環境の整備・保全事業の趣旨を理解し、地域の環境問題に向けて積極的な姿勢で実践されている」とたたえ、菊田さんは「商売をしている身として、日ごろお世話になっている皆さんへの感謝の気持ちから始めた。3月から11月まで毎朝1時間ほどの道路の清掃活動だが、できること自体ありがたい。体力がもつ限り続けたい」と話しました。

新しい総合計画の素案策定

桑折の未来、一緒に考えましょう

町は、令和4年度から始まる、まちづくりの道しるべとなる総合計画を策定します。総合計画は、皆さんの意見をもとに練り上げていきます。普段感じているまちの課題やまちづくりのアイデアを、ぜひお寄せください。

町では、令和4年度から始まる、10年後のまちづくりを見据えた次期総合計画の策定を進めています。これまで、「町民アンケート」をはじめ、若者世代による「こおり未来会議」や有識者会議、審議会などを実施し、参加者の皆さんの意見を踏まえた「中間的素案」を取りまとめました。

本計画は、今年9月の完成を目指しています。より一層、町民の皆さんの意見を反映した計画とす

るため、幅広い世代の皆さんから多くの意見を募集します。

「中間的素案」の詳細は、町ホームページに掲載するほか、各地区公民館や役場（町民ロビーや総合政策課）で閲覧できますので、参考にご覧ください。



▲第4回審議会にて意見交換（6月18日実施）

総合計画とは？

まちづくりの指針となる最上位計画です。将来、桑折町をどのようなまちにしていきたいのか、そのために誰がどんなことをしていくのかなど、基本方針と取り組みの方向性を総合的・体系的にまとめています。

次期総合計画（素案）

「6幸6恵のまち こおり 未来プラン」(仮)

基本構想案
を紹介します

| 町の将来像 | 豊かな恵みと幸せに満ちた 躍動するまち 桑折 (仮)

| 将来像実現に向けた6つの方針 | 桑折町の頭文字「K」をキーワードに、6つの幸せと恵みを掲げています。



- ▶ 活力と賑わいに満ちたまちづくり
- ▶ 暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり
- ▶ 健康長寿で元気なまちづくり
- ▶ 交流で絆を育むまちづくり
- ▶ 子どもを大切にするまちづくり
- ▶ 危機管理に備えた安全・安心のまちづくり

届けてください、あなたの声

今から10年後、あなたはどんな町で、どのように過ごしていきたいですか。子どもから大人まで、多くの皆さんからの意見をお待ちしています。

■意見提出先 総合政策課 政策推進係
TEL 582-2115 FAX 582-2479
✉ seisaku@town.koori.fukushima.jp

意見を募集します

「今後この分野に力を入れて！」
「こんなものがあつたらいいな」
「桑折でわたしはこんなことができるよ」などお聞かせください。

※提出様式は閲覧場所にありませ

提出期限
7/20
まで